

日の出前の薄暗いAM3:25立川の自宅を出発して、青梅街道から岩倉街道を通り、圏央道の青梅インターへ向かいました。

早朝の為か圏央道の車は少なく、順調に鶴ヶ島JCTに合流しました、少し明るくなり始めた花園ICを過ぎたあたりで、JF1ZFCの宍戸さんをコール、するとコールバックがあり「嵐山SAを過ぎたあたり」との事で近い事を確認しました。

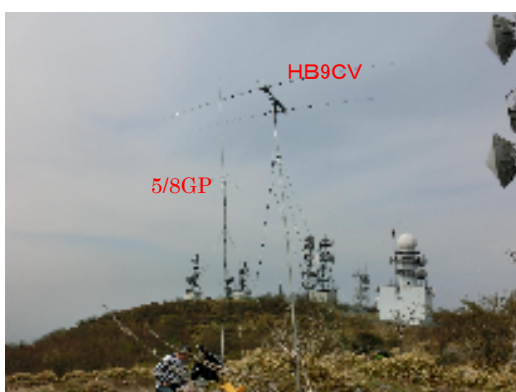
AM4:40頃に上里SAで合流して、トイレと休憩をして前橋インターへ向かうと7M2FQYの伊藤さんが関越を下りて「前橋市内を走行中」のBKがあり、前橋市内の道案内をしながら3局でラウンドQSO走行となりました。

県道4号線を上り赤城神社の大きな鳥居を過ぎて、標高1400m位の赤城山観光センター付近まで上り50.240Mhzで移動各局にCQをコールしましたが、まだAM6時前の為かコールバックは無く、小沼の駐車場に到着し、先着の7M2FQY局と合流して八丁峠の駐車場に向かいました。

八丁峠は地蔵岳の直下にあり最短時間の30分で1674mの山頂まで登れるので、私は過去2回の地蔵岳移動は八丁峠から登りました。

今回の移動運用の機材は、無線機のFT690MK2+リニアFL6020と鉛電池やANTのHB9CVと8/5λGP、ポール2本と過去2回の機材より多い荷揚げとなり、食糧などを含めると私のリュックは10K+αでした、3局分散して荷揚げをしたので大変助かりました。

通常のペースでは30分のコースですが、私がすこしバテ気味になり、途中休憩を入れて40分位で到着しました、山頂の天気はFBで直下の小沼や大沼、谷川連邦や前橋や桐生の街並みが良く見えました。



AM7:10にANTを設営して受信を開始すると、早朝の為かバンド内は静かで移動各局の信号も聞こえませんでした、CQ240をコールすると銚子移動中のJK1CZD/Mの鈴木さんからコールバックがあり59/59でコンタクトが来ました。

AM9時の電波伝搬実験が開始までに、太田市のJG1VLC局や町田市のJA1SIUの固定局や当日参加のJA1WSE/青梅市、JJ1LZE/日の出町からコールがありました。また事前エントリー局の確認を行い始めたころから、バンド内にバズ音が聞こえ始め、さらに6エリアの局が強力に聞こえ始めて、騒がしくなってきました。

AM8:50に50.440MhzにQSYする事に決めて、JA1RIZ/秩父局に50.240でのQSPをお願いして、コントロール局は50.440にQSYしました、事前にコンタクト出来ていた移動各局は50.440にQSYできましたが、JR2CTR/2とJA1UPE/2は確認出来ないため、JA1WYU/伊東市局にQSPをお願いして、QSYして頂きました。  
残念ながら、JA9EBS局とJS1SGM局はEsの混信か？コンタクト出来ませんでした。

AM9:00 遠方のJR2CTR局から実験を開始しました、コントロール局での受信は厳しく5/8GPではノイズに埋もれて信号を確認する事が出来ません、HB9CVに切り変えるとノイズレベルが下がると、ビーム効果でRS21~31で時々声が聞こえる状態でした。またJA1UPE/2局もHB9CVのほうが了解度が上がりRS、51でした5/8GPではRS、41で了解度が下がりました。



1エリア移動各局は59でFBに入感し、JJ1SXA/鹿沼、JA1FYQ/銚子、JA1RIZ/秩父、JA1WSE/青梅、JJ1LZE/日の出と実験を行いAM10時無事は終了しました。



伝搬実験終了後すこし休憩して、山頂の記念写真を撮ってから、「群馬県前橋市地蔵岳」移動サービスを行いました、既にEsはフェードアウトしていた様で、1エリア各局を中心に1時間で18局とのQSOができました。昼食を済ませてANTの撤収を始めると、「小学生の団体140人が山頂に来る」と引率の先生から伝えられました、ANTポールにステーなど張ってあったので、FBなタイミングの撤収でした。

グの撤収でした。

帰りは、いつもの道の駅「富士見温泉見晴の湯」によって、温泉に浸かり休憩して帰りました。

おわり